

『2022 全国高専ピッチオブザイヤー』表彰結果について  
(お知らせ)

2023年3月13日  
一般財団法人持続性推進機構  
全国高専ピッチファクトリー事務局

全国の高専生が社会課題を発見し、その解決につながる「ものづくり技術」をテーマに制作された「ピッチ動画」を表彰する『2022 全国高専ピッチオブザイヤー』の表彰結果をお知らせします。今回参加のあったピッチ動画を視聴した企業経営者や高専生からの「いいね」によって、以下の通り、金賞・銀賞が決定しました。

**【金賞】**

高専名：旭川工業高等専門学校

チーム名：チーム PonPPK

(学生から一言)

私たちの研究成果を様々な業種の方々に披露することができました。今回、皆様から得た評価から、ビジネス化に向けて、頑張っていきたいと思いました。

(担当教員から一言)

学生たちがこれまでに得てきた研究成果を様々な人々に伝えることができる良い機会となりました。今回の取り組みをきっかけに、彼らの成果がビジネス化へ向けて進むことが前進することができました。

**【銀賞】**

高専名：香川高等専門学校

チーム名：SD-Geotechnical-s

(学生から一言)

少し奇抜な発想かなと思っていました。先生の支援や地域の業者さんなどにヒアリングしていくうちに、具体的な案がまとめられて良かったと思います。

(担当教員から一言)

ため池の底泥をエネルギー化するという発想に驚かされました。調べていくうちに、町中の池やお城のお堀などで社会問題化している現状を知りました。

**【銀賞】**

高専名：和歌山工業高等専門学校

チーム名：うおんちゅ～want you～／妖怪軍団／Mikansei

（学生から一言）

スマホで撮影した動画をPCに取り込んで、デフォルトソフトで動画編集できたことが楽しかった。一方で、視聴してくれる人が楽しんでくれるように考えたが、所属の会社や年齢など様々な要因で欲してくれる内容が変わることを改めて知りました。伝えたいことを的確に表現する方法について勉強になりました。

（担当教員から一言）

本科1年生の情報処理授業の中で取り組みました。本コンテストは環境などの課題を考え直す機会に加えて、発信すべき内容を短編にまとめ上げるストーリー設計が現在のアントレプレナーシップ教育にもつながる良い繋ぎとなりました。

**【銀賞】**

高専名：松江工業高等専門学校

チーム名：簡単にちょっとだけ蓄電

（学生から一言）

装置製作にあたり、先生や技術職員の方のサポートにより実現できました。時間を掛けて、ものづくりを行うことの必要性を感じました。

（担当教員から一言）

今回提出したテーマの解決方法は、太陽電池と蓄電器とその制御回路に、トレイルカメラを接続するもので、学生のアイデアを活かしたものとなっています。

※今回の銀賞については、「いいね」による評価、ピッチ内容について、いずれも優れており、複数チームの受賞となりました。

<全国高専ピッチファクトリーの概要・ピッチ動画の視聴>

<https://ipsus.jp/social-mission/>